

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		平和事業費 [平和事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号	7			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	5 - 4			
【施策名】 地域を超えたパートナーシップの確立							総合計画書 (ページ)	113			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				人口数(令和2年4月1日現在)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市民が平和の大切さを感じる状態				平和事業施策に対する市民の満足度							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①平和月間の周知(市報掲載・HP・横断幕掲出) ②平和市民のつどいの開催 ③平和文集の発行(年度版) ④平和祈念・戦争資料展の開催 ⑤日本国憲法(冊子)の配布 ⑥平和資料の貸出 ⑦戦争体験映像記録の普及 ⑧地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業の実施				①市報掲載回数、HP掲載回数、横断幕掲出箇所数 ②開催回数 ③発行部数 ④開催回数 ⑤配布冊数 ⑥貸出回数 ⑦戦争体験映像記録の貸出回数及び東大和市公式動画チャンネルの視聴回数 ⑧実施回数							
→											
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	%	17.0	17.6	13.9					
	目標	②の目標値					17.7				
目標値設定の考え方											
市民意識調査における「恒久平和の実現について」の市民の満足度の上昇を目指す。令和3年度の目標値を17.7%としている。											
活動指標	③の数値		①1回・1回・3箇所②1回③1,000部④1回⑤400冊⑥0回⑦3回及び172回⑧1回	①1回・1回・3箇所②1回③1,000部④1回⑤20冊⑥2回⑦2回及び285回⑧1回	①1回・1回・3箇所②1回③500部④1回⑤0冊⑥2回⑦2回及び1040回⑧0回						
3 経費	事業費(実績)		円	3,725,402	4,159,757	615,228	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,444,771	928,002	615,228					
		特定財源(国・都・他)	円	2,280,631	3,231,755	0					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	8,244,000	8,310,000	8,380,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	11,969,402	12,469,757	8,995,228						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H14 年度								
	(2) 環境の変化 戦争体験者の市人口に占める割合が減少しており、それに伴い身近な環境で戦争の悲惨さを語り継げる機会も失われつつある。										

事業名称	平和事業費 [平和事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） <table border="1"> <tr> <td>☒ 取り組んだ</td><td>取組手法：②、③、④、⑥（広報媒体：市報、HP、ツイッター）</td></tr> <tr> <td>☐ 取り組まない</td><td> 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） </td></tr> </table> (2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市の平和への取組を紹介・周知する方法として、動画制作は有効である。	☒ 取り組んだ	取組手法：②、③、④、⑥（広報媒体：市報、HP、ツイッター）	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
☒ 取り組んだ	取組手法：②、③、④、⑥（広報媒体：市報、HP、ツイッター）				
☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 平和文集については、戦争体験者からの寄稿数を増やすため、文字数が少ない「ミニ作文」等の募集を検討する。 また、引き続き「平和市民のつどい」、「平和月間」等のイベントを通じて、旧日立航空機株式会社変電所の知名度の向上を図る。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 平和文集の「ミニ作文」については、募集を行ったが、令和2年度は残念ながら応募は無かった。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、平和市民のつどいを変電所前の平和広場では実施することができず、代わりに制作した動画（第16回平和市民のつどい（YouTube版））にて開催した。また、広島派遣事業についても、同様の理由で実施することができなかった。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 平和文集の「ミニ作文」については、令和3年度も引き続き募集を行う。 平和市民のつどい及び広島派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、安全に実施できる方法を検討していく。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域を超えたパートナーシップの確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 戦争を知らない世代が、戦争と平和について学び・考える機会を設け、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていくことのできる社会を醸成する。 戦災建造物である「旧日立航空機株式会社変電所」を保存し、その存在を伝えていくことで、平和のシンボルとしての建物が東大和市にもあることを周知していく。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 種々のイベントにおいて、効果的に変電所の周知を図る。 ※令和3年度は、平和市民のつどいにおいて、変電所の改修工事終了記念式典を実施予定。 また東京2020オリンピック・パラリンピック大会のパラリンピック聖火ランナーの開催日と合わせて平和市民のつどいを実施することで、多くの市民等に変電所の存在についてPRする。				